

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 登別漁港まつり補助金
-------------------	-------------------------

区分	番号	名 称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	2	自然を活かした産業の育成
施策	1	特色ある農業・漁業の推進
小分類	4	都市生活者・他産業従事者との交流促進
主要な施策	2	マリンツーリズム（漁村との交流を楽しむ余暇活動）の推進
事務事業番号	001	事務事業コード 32142001 事業開始年度 昭和 5 2 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	登別漁港まつり補助金
------	------	------------	------------

部 名	観光経済部	グループ名	農林水産 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	<p style="background-color: #ffffcc;">（何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください）</p> 登別漁港まつり実行委員会
手段 （事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc;">（目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください）</p> 地場水産物のPRと消費拡大、漁港愛護の普及促進、漁港を核とした地域振興の発展を目的に実行委員会が組織され、実施されている漁港まつりに対し、運営費の一部を助成する。 主な事業内容 海上安全祈願祭、海産物即売会、青空市、花火大会、朝獲さけの即売 登別市、白老町、登別観光協会後援
目指す姿 （成果）	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください）</p> 漁港まつりを通し、登別市民並びに白老町民の連帯感を深め、登別漁港産の水産物を核とした、観光との有機的な連携・協働による「まちづくり」を目指す。また、地場水産物のPRと地産地消の推進を図る。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください）</p> 登別市水産業振興対策事業補助規則

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標		人	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
			実績値	30,000				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	320	300	300	300	300	900
合 計				320	300	300	300	300	900
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	99	104			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		99	104			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 新鮮な地場水産物を低価格で提供することで、地場水産物の良さを認識してもらい、水産応援団となってもらうことで地産地消の推進が図られる。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 来場者数も、年々増え、賑わっている。また、多くの市民に地場水産物の良さを認識してもらう最大の機会でもある。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ イベントに対する支援ではなく、地場水産物のPRや消費拡大に向けた事業に限定した支援とすることで、継続性のある地産地消の推進を図る。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 事業コストに見合う効果があがっており、コスト（予算）を削減することによって、事業の質の低下を招くことが懸念される。

担当グループによる評価

改 善	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	登別漁港まつりは、水産業の健全な発展、活力ある水産業や漁村地域の振興を目指す将来構想である「登別・白老（虎杖浜）地域マリンビジョン」の重要な取り組みの一つであるが、市内の他のイベントは自主自立の方針とし公的補助を行っていないことから、今後は、「登別・白老（虎杖浜）地域マリンビジョン」のコンセプトである地場水産物のPRや消費拡大に向けた事業に対する支援となるよう、関係機関と協議する。
-----	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

改 善	備考	本来の目的である地元水産物のPRや消費拡大など、漁港活性化に向けた事業に対する支援となるよう協議・検討すること。
-----	----	--

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）